



# 公開プレゼンテーション実施状況

## 1-2 豊橋農業を活性化するための農産物ブランド化の取組（農業企画課）

区分	内容
基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進 2 「自立と責任」の強化に向けた行政体制の整備
重点推進項目	③ 地域資源の発掘と積極的なプロモーション活動の推進 ⑨ 自治体間の広域連携事業の推進
取組項目	1. 豊橋産農産物のブランド化を促進するため、「農産物ブランド化のためのプロモーション計画」の策定と推進 （効果目標等：とよはし農産物ブランド化） 2. 農産物輸出の推進に向けた連携強化 （効果目標等：輸出品目の拡大等）
各委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブランド化するには強烈なインパクトを作る必要があることから、豊橋市民がより地元の野菜を食べるよう、地産地消を誘導するだけではなく、豊橋産の農産物を食べた場合には何らかのメリットがあるなどの工夫をしてみてもどうか。</li> <li>○ 天伯スイカやキャベツなどは日本中に誇ることでできる野菜であると思うが、天伯スイカなどインパクトのあるものを都会で販売してみてもどうか。</li> <li>○ 戦略3品目から外れた農産物を生産している農家が納得できるよう、生産者の増加という最終目標に向けてブランド化の取組を強化してもらいたい。</li> <li>○ 有名料亭などにプロモーションし、豊橋産の野菜を使用してもらうことでブランド化が図れるのではないかと。プロモーション先をどこにするかは重要であり、ストーリーを描いてマーケティングしていくと上手くいくかもしれない。店頭で商品がたくさん並ぶことがブランド化ではなく、豊橋の野菜は素晴らしいと認識してもらうことがブランド化ではないかと。</li> </ul>
市民意見	戦略3品目にこだわる必要があるのか。インパクトも弱く、好き嫌いが多く品目だと思ふ。



意見を踏まえた取組に対する認識	本市の農産物プロモーションは戦略3品目に重点を置いて実施しますが、必ずしもそのみの活動ではありません。戦略3品目以外の品目についても活動は行っていきます。 今回いただいた皆様のご意見を今後の参考とさせていただき、より一層効果的なプロモーションに努めていきたいと考えています。
-----------------	--